

第2回「防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会」 —災害時医療と理工学分野の連携—

日時：2019年6月13日(木) 13:00~17:30

会場：日本学術会議(東京都・乃木坂)

災害発生後の緊急時における医療活動は、人命を守る観点で極めて重要である。この活動を支えるためには、被災状況の把握、被災地までのあるいは被災地における交通・輸送の確保、病院・避難施設の安全・環境面の問題など、理工学の諸分野の技術や情報が展開される必要がある。

本連絡会では、災害発生直後の医療・看護活動をスムーズに進めるための連携に的を絞り、各分野の情報交換を行うとともに、今後の連携のあり方と方策を考える。

プログラム

	司会	防災減災学術連携委員会幹事	田村和夫
13:00-13:05	開会挨拶	防災減災学術連携委員会委員長	米田雅子
13:05-13:10	趣旨説明	防災学術連携体副代表幹事	小井土雄一
13:10-13:15	挨拶	内閣府 防災担当政策統括官	海堀安喜
13:15-13:20	出席者の紹介		
13:20-14:20	災害医療関係の学会から問題提起		

日本災害医学会：災害時の医療活動と課題(安全性確保,ライフライン確保,機能維持と復旧等)(25分)

近藤久禎、近藤祐史

日本災害看護学会：災害時の看護活動と課題、減災ナースの取組み(20分)

神原咲子、小原真理子

日本水環境学会：災害時の医療施設における給水確保のためのソフト・ハード対策の推進(15分)

秋葉道宏

14:20-15:40 理工学分野の学会からの情報提供(各学会:10分)

日本建築学会：建築施設の被災状況とモニタリング

日比野陽

地盤工学会：医療施設・道路・ライフラインの液状化対策

小高猛司

地域安全学会：病院力診断システムと使用継続判断システム,災害研修プログラム

池内淳子

日本地震工学会：病院における電力供給確保、管路の優先耐震化

鎌田泰子

土木学会：リアルタイム洪水ハザードマップと災害医療への適用

竹林洋史

日本地図学会：災害時における地理空間情報の提供

宇根 寛

日本自然災害学会：スパコンを用いた浸水計算と避難誘導への活用

小林健一郎

計測自動制御学会：災害時に活用可能なロボット技術

榎木哲夫

15:40-15:50 休憩

15:50-17:10 関係府庁省と学協会との意見交換(コーディネーター:米田雅子(前掲))

(1) 医療機関の機能維持と早期復旧

厚生労働省医政局：災害拠点病院の電気、水の確保について(15分)

西田 翼

意見交換

(2) 災害時の情報共有

国土交通省国土地理院：防災地理情報の活用について(15分)

中島秀敏

内閣府政策統括官(防災担当) 防災計画担当:ISUTの取組みについて(15分)

西山直人

意見交換

(3) その他(医療機関施設の安全性の確認と確保など)

意見交換

以上のテーマごとに、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、厚生労働省、国土交通省、環境省、防衛省、気象庁、などの関係府省庁の関係部局の方々、日本学術会議・各学会メンバーにより意見交換を行う

17:10-17:25 日本学術会議、府省庁、防災学術連携体の構成学会からのお知らせ

17:25-17:30 開会挨拶 防災減災学術連携委員会幹事 目黒公郎

※ 本連絡会は日本学術会議の防災減災学術連携委員会として開催する(本連絡会開催の10分前(12時50分)に上記委員会を開始予定)

※ 本連絡会は日本学術会議(会員・連携会員)、防災学術連携体(幹事、防災連携委員)の集まりですが、57会員学会の会員の皆様のご参加も自由です。申し込みは不要ですので、当日に会場にいらしてください。

